

釜本邦茂氏によるサッカー教室（平成26年6月7日）



2014サッカーワールドカップ・ブラジル大会を1週間後に控えた6月7日、株式会社釜本企画との共催事業として、下鳥羽公園球技場において、釜本邦茂氏によるサッカー教室を開催し、京都市内を中心に約170名の子どもたちが参加しました。

講師陣には、釜本邦茂氏をはじめ、日本代表の遠藤保仁氏の兄であり、1996年のアトランタオリンピック（U23）で背番号10番を背負い、当時、優勝候補であったブラジル代表を破り、「マイアミの奇跡」と呼ばれた勝利に大きく貢献した元Jリーガーの遠藤彰弘氏、釜本氏のチームメイトで松下サッカークラブ（現ガンバ大阪）のユースやジュニアユースの総監督として活躍された浜頭昌弘氏等の豪華メンバーが揃いました。

釜本氏は、ボールを使った身体運動や、リフティング、ドリブル、パス回しなどを指示しながら、「パスしたら走る」、「体からボールを離さないで」と身ぶり、手ぶりを交えながら声をかけておられました。また、「良い選手になるためには基本が大事。今この年齢の時にどれだけ基本の動きが身についているかが、この後の成長につながる。練習を繰り返してまず基本を身につけてほしい。」と力強く子どもたちに話されていました。

後半は、実技の指導として遠藤氏の豪快なシュートをお手本に、シュートを打つ際の秘訣や軸足の向き、蹴り足のボールに当たるポイント、上半身の姿勢など細かなチェックポイントについて丁寧に御指導いただきました。

釜本氏の厳しい指導にも、子どもたちは「パスなどボールのどこを蹴ればいいのか」がわかりよかった。」などと笑顔で話しながら楽しんでいました。